

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市立休日急病診療所運営委員会
2 開催日時	令和6年1月30日(火) 午後1時30分から 午後2時00分まで
3 開催場所	河内長野市立保健センター2階 多目的室
4 会議の概要	(1) 患者統計資料報告について (2) 使用薬品について (3) 障害児(者) 歯科診療事業の実施状況について (4) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 市民保健部 健康推進課 (内線 146)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和5年度河内長野市休日急病診療所 運営委員会 会議議事録

○日時 令和6年1月30日(火) 午後1時30分から午後2時まで

○場所 河内長野市立保健センター 2階 多目的室

<案件>

(1) 患者統計資料報告について

- ① 月別患者数
- ② 転送患者数、年末年始患者数
- ③ 市内・市外別患者数
- ④ 年齢別患者数、医師判断
- ⑤ 診療日数・患者数等
- ⑥ インフルエンザ患者数
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症検査状況
- ⑧ 【年末年始】新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ検査状況

(2) 使用薬品について

- ① 使用薬品一覧表<単価契約用>
- ② 休日急病診療所薬品一覧表
- ③ 廃棄薬リスト
- ④ 薬局からの報告事項

(3) 障がい児(者) 歯科診療事業の実施状況について

- ①患者統計資料
- ②年齢別患者数

(4) その他

<出席者>

- 森川 栄司 (休日急病診療所管理医師)
- 山口 竜司 (河内長野市医師会を代表する者)
- 大谷 明久 (河内長野市医師会を代表する者)
- 西村 拓也 (河内長野市医師会を代表する者)
- 中西 晴彦 (河内長野市歯科医師会を代表する者)
- 谷 英樹 (河内長野市歯科医師会を代表する者)
- 船多 大 (河内長野市薬剤師会を代表する者)
- 藤山 治 (河内長野市薬剤師会を代表する者)
- 駄場中 大介 (河内長野市議会を代表する者)
- 若林 靖 (河内長野市議会を代表する者)

○傍聴について

傍聴者なし

(1) 患者統計資料報告について

① 月別患者数について

令和5年度（12月末まで）患者数は1,233人、診療日数89日、1日平均13.9人、内訳は、内科1,172人、その他（皮膚科、耳鼻科など）10人、歯科51人。

令和5年5月8日に新型コロナウイルスが5類に移行したことから、日祝等のみ実施していたコロナ検査を土曜日も実施。また令和4年度は検査人数の上限を16人にしていましたが、5類移行後は上限を撤廃した。それに伴い、新型コロナウイルス・インフルエンザ検査を希望する受診者数が多くなっていることから、令和5年4月から12月末までの患者数合計が1,233人となっている。

② 転送患者数、年末年始患者数について

令和5年度（12月末）は12件、令和4年度は年間で3件。

年末年始患者数については、12月30日から1月3日までの5日間で、令和5年度は令和4年度に比べ、189人の増加。

③ 市内・市外別患者数

患者数1,233人の内、89.1%が市内患者。

④ 年齢別患者数、医師判断

50代が全体の17.2%と一番多く占め、20代が16.8%、20代から60代で全体の約75%となっている。

医師判断については、受診者の82.1%の方が「本日の受診がのぞましかった」、16.8%の方が「翌日でもよかった」、1%の方は、「前日に他の医療機関で受診すべきだった」となっている。

⑤ 診療日数・患者数等

1日平均の患者数について、令和3年度が、5人で、令和4年度は、8.6人、令和5年度は、13.9人（12月末まで）。令和元年度の患者数は、合計で1,714人、1日平均で13.6人だったため、令和5年度は新型コロナウイルス感染症流行前の患者数と同等。令和5年度は大阪狭山市の患者が52人、富田林市の患者が27人と、近隣の方が多くなっている。

⑥ インフルエンザ患者数

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時検査を実施し、12月末までで878人に検査を実施し、そのうち231人がインフルエンザA型、4人がインフルエンザB型となっている。令和4年度は400人に検査を実施し、A型は69人、B型は2人。令和4年度はインフルエンザの感染が抑制されていたが、令和5年度は増加傾向にあると思われる。

⑦ 新型コロナウイルス感染症検査状況

7月以降は、検査希望人数や陽性者が増加。10月以降は検査人数・陽性者数ともに減少したものの、12月は増加傾向にある。

⑧ 【年未年始】新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ検査状況

休日急病診療所において、発熱等の患者に対し、インフルエンザ検査と同時に新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。12月30日から1月3日までの5日間で、新型コロナウイルス検査を合計213人に対し実施し、陽性者は37人、インフルエンザ検査数は合計238人に対し検査を実施し、陽性者は94人。

引き続き休日急病診療所での新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ検査を実施していく。

(3) 使用薬品について

(藤山委員)

16ページの資料2-3から説明いたします。廃棄薬品について記載しております。詳細は割愛しますが、新型コロナウイルス感染症は5類相当に引き下げられた影響もあり、患者数の増加に伴い廃棄する薬品は2022年と比較して少なくなりました。2022年、今年度もそうですが、医薬品の流通状況の悪化で、咳止めや解熱鎮痛剤の出荷が止まっており、医薬品の品薄など先生方には大変ご迷惑をおかけしております。今後薬品が入ってこない場合は、速やかにジェネリック医薬品や、代替薬の変更などを随時行っていきますので、ご協力お願いいたします。

17ページの資料2-4の資料は使用数の過少品目をまとめたものです。○でチェックしているものが、5年以内に未使用で廃棄となってしまった医薬品となります。特に連続して起こっているのが、消毒剤関係が多くなっています。オキシドールやオスバン、無水エタノールは薬局以外の診療所や歯科で使用していなければ、このまま在庫するのをやめ、採用中止にさせていただきたいと思っておりますので、ご検討よろしくお願いいたします。

次に資料11～15ページの資料2-2は院内の医薬品となっておりますので、診察の時に使えるように先生方の傍に置いておきますので、ご活用ください。次に単価契約している薬品につきまして、市の方からご説明申し上げます。

(事務局)

9ページの資料2-1は現在単価契約を行っている薬品の一覧表になります。今後医師会や歯科医師会、薬剤師会等と使用しない薬品や、採用中止の薬品等を調整させていただきたいと思っておりますので、ご協力いただければと思います。

(森川委員)

ありがとうございました。薬剤師会から説明していただきました。ご意見、ご質問がありましたら、よろしく願いいたします。

私からよろしいでしょうか。廃棄の薬品等がありましたけれども、現在薬を見直そうという形で話が進んでおりますので、薬剤師会や歯科医師会の先生方、ご協力よろしく願いいたします。

(4) 障がい児(者) 歯科診療事業の実施状況について

①患者統計資料について

令和5年度は診療日数37日、患者数524人、1日当たりの平均患者数は14.2人。1日16人の予約制で実施しておりますので、毎年の患者数につきましては、大きな変動はなし。524名のうち、296名、56.5%が市内の方。

②年齢別患者数について

受診者の21%が40代の方、次に10代の方が16.6%になっており、60歳未満の患者で92%となっている。

(森川委員)

何かご質問はありますか。

なければ、次の議題「その他」について事務局から何かありますか。

(事務局)

それでは、案件：4その他といたしまして、年末年始の検査体制について、ご報告いたします。新型コロナウイルス感染症の5類移行後、検査数の上限を撤廃し、初めての年末年始を迎えました。年末年始は、休日急病診療所に多くの患者が来院される可能性が考えられるため、現場の方々や管理医師である森川先生と協議を重ね、検査体制の拡充を行った結果、現場での大きな混乱はなく、スムーズに検査を行うことができました。

三師会のご協力があり、無事に年末年始を乗り越えることができました。ご協力賜り、ありがとうございました。

今後の感染状況につきまして、まだまだ不透明ではございますが、引き続きご協力を賜りたくお願い申し上げます。

(中西委員)

質問が2つありますが、事務局の方から年末年始にコロナの患者が多くなること、また歯科の患者は常時そんなに多くこられないため、歯科の待合の場所を奥まって左側で、そういう風にしたが、これはずっとこのままの状態なのか、新しく元に戻ってく

ださいという指示があるのかお聞きしたいです。

(森川委員)

事務局としてご意見をお願いします。

(事務局)

ご質問にお答えさせていただきます。現在感染状況が不透明なため、この体制で問題がなければ、このまま進めさせていただければと思います。もし歯科の待合が狭い等、ご意見等がありましたら適宜現場の方と調整し変更いたします。

(中西委員)

年末年始の検査体制について、指示があるまでは休日急病診療所の出務に当たっていましたが、次の出務が3月で、まだ当たっていないので、実際の状況が把握できていないのですが、検査体制の変更について、電話で報告いただいたので、また変化があれば教えていただくか、出務した際に、事務の方に「こういう状況でこちらです」という案内をしていただければ幸いです。

もう一つ、休日急病診療所は菊水町からこちらに移転したために、歯科、内科も含めて歯科では休日急病診療所と障がい児（者）も含めて近畿厚生局から新規個別指導というものがあつたのですが、内科の方はなかったですか。

(森川委員)

ありました。

(中西委員)

歯科の方はあれから特に連絡もなく、無事に終わりましたがどうでしたでしょうか。

(森川委員)

ご指摘はなかったですね。

(事務局)

医科の方も何点かご指摘があり、1点目が診療録（カルテ）の方ですが、下の3面のところに患者から徴収する一部負担金の徴収金額の記載が適正にされていないという点と、診療録（カルテ）に薬剤情報を提供した旨の記載がないというご指摘をいただきましたので、1点目の指摘に関しては受付事務の方に記載していただくよう指示し、2点目に関しては、ゴム印を作成しカルテ上から薬剤情報を提供したことがわかるように改善させていただきました。

補足で、改善状況につきましては近畿厚生局へ既に報告書を提出させていただきまして、ご了解を得ております。

(中西委員)

歯科の方は先ほど代表者が大阪大学の代表ということで、奥先生や川原先生と僕と保健センターの方から計4人でお伺いして対応して無事に終わりましたが、それ以降また近畿厚生局より指導があった分に関しては、川原先生が主になっておりますので、きちんとしておられると思いますが、もし何かあれば歯科に関しては僕たち2人に聞いていただいたらお話しできますので、よろしくをお願いします。

(森川委員)

ありがとうございました。私は管理医師として内科の方に行きましたが、何も無いと言ってしまいましたが、しっかり答えてくれてありがとうございます。

去年1年間で、何か休日急病診療所の中で事故、何か問題になるようなことはありましたでしょうか。こういう場ですので、特に問題になるようなことがあれば、そういうのも一緒に報告する場になればいいなと思いますが、特別なかったですか。

(中西委員)

以前、障害児(者)歯科診療の時に出務歯科医師が事故を起こされて、その時に色々対応していただいて、市の方で入っている保険や色々なことをどの程度の流れで、診療を受けて「これは外傷だろう」などがあれば、申請できるような状況を、お願いしたら作っていただいたので、その内容は医科の方でも周知されていると思いますので、ご活用ください。

(森川委員)

ありがとうございました。何か他にご意見ございましたらお願いいたします。議員の先生方、ございますでしょうか。ご意見ご質問等がなければ、本日の案件はこれで終了いたしますが、本日の案件以外で何かご質問等ありましたら、よろしくようお願いいたします。ご意見がないようでしたら、これで休日急病診療所運営委員会を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。